

第36回
奈良ギター合奏団

定期演奏会



2024. 10. 26(土) PM 1:30

なら100年会館 中ホール

プログラム

◆…………… 第一部 ……………◆

合奏

弦楽四重奏曲 2番 第3楽章「夜想曲」
調和の靈感 作品3 から 8番 第1楽章
アルハンブラの思い出
アストリアス

◆…………… 第二部 ……………◆

独奏

リブラ・ソナチネ より
第2楽章 ラルゴ 第3楽章 フォッコ

ギターアンサンブル 50's

函館の女
女ひとり
糸
エストレリータ (小さな星)

バロックアンサンブル

プレリュード BWV869
トリオ・ソナタ4番 2楽章 BWV528
トリオ・ソナタ6番 1楽章 BWV530

◆…………… 第三部 ……………◆

合奏

ディズニー・メドレー
ラ・クンパルシータ
蒼いノクターン
リカド・ボサノバ

曲目解説

< … 第一部 … >

♪ 【弦楽四重奏曲2番 第3楽章「夜想曲」】

アレクサンドル・ポロディン 作曲

19世紀後半、ロシア国民楽派の一人ポロディンは、限られた時間の中で多くの名曲を残しています。(本職は医科大の教授・化学者)

この曲は、出会いから20周年の記念として、愛する妻に捧げられました。

第3楽章「ノクターン」は優しく語りかけるような第一主題、そして駆け抜ける情熱的な第二主題が提示され、それぞれが形を変え、交差しながら進行し、静かに終わります。

この楽章だけが単独で演奏される機会も多い、美しい曲です。

♪ 【調和の靈感 作品3 8番 第1楽章】 アントニオ・ヴィヴァルディ 作曲

ヴィヴァルディは18世紀初頭に活躍した、イタリアの後期バロックを代表する作曲家で多くの協奏曲を残しました。本日演奏します「調和の靈感 作品3」は、12曲からなる協奏曲集で、第8番は「二つのヴァイオリンのための協奏曲」です。

本日は独奏者を置かず、各パートが均等に独奏部分を受け持って演奏します。

♪ 【アルハンブラの思い出】 フランシスコ・タレガ 作曲

19世紀後半スペインで活躍し、ギター奏者・作曲家でもあった、タレガの最も有名な曲です。スペインの古都グラナダの丘にそびえるアルハンブラ宮殿は、かつてはイベリア半島を支配していたイスラム教徒の大規模な城塞でした。現在では、庭園や彫刻・装飾が随所に残された美しい宮殿だけが残るのみですが、世界遺産にも登録され、世界中から観光客が訪れる名所となっています。

♪ 【アストリアス】 イサーク・アルベニス 作曲

アルベニスは、19世紀スペインにおけるロマン派を代表するピアニスト、作曲家で、スペインの民族音楽の影響を受けた曲で知られています。

「アストリアス」は、ピアノ曲集「スペイン組曲」5曲目に収められています。後にタレガによりギター曲として編曲され、以後ギター版が有名となり、多くのギタリストが演奏しています。

< … 第二部 … >

♪ 【リブラ・ソナチナより ラルゴ フォッコ】

ローラン・ディアンス 作曲

ディアンスが20代の頃の作品と考えられます。

タイトルの「リブラ」とは「天秤座」のことで、作曲家自身の星座を指しています。

独特な音響で悪魔的な魅力を感じさせる名曲です。

♪ 【函館の女】 星野哲郎 作詞 島津伸男 作曲

1965年(昭和40年)に発売された北島三郎のシングル。140万枚を記録する大ヒットとなりました。1988年(昭和63年)3月13日の青函連絡船最終運航の際は、この曲の大合唱となったという逸話もあるとか……。

♪ 【女ひとり】 永六輔 作詞 いずみたく 作曲

1965年(昭和40年)から1969年にかけて、デューク・エイセスが歌うというスタイルで、各都道府県ごと全部で52曲が発売された「日本の歌シリーズ」の京都版です。三院院、高山寺、大覚寺の3つの寺院が登場します。

♪ 【糸】 中島みゆき 作詞 作曲

1998年(平成10年)に発売されたこの曲は中島みゆきの35枚目シングルです。同時に発表された「命の別名」(いのちのべつめい)と共に、いずれもTBS系テレビドラマ「聖者の行進」の主題歌に使用されました。

♪ 【エストレリータ (小さな星)】 マヌエル・ボンセ 作曲

もともとは歌曲で、ボンセ自身の詩に自ら作曲しました。バイオリニストのヤッシャ・ハイフェッツがバイオリンに編曲して有名になりました。

その詩は 遠い空からの小さな星 降りてきて、
彼が私を愛しているかどうか教えてください
なぜなら、私は彼の愛なしでは生きていけないからです。

♪ 【プレリュード BWV869】 J.S.バッハ 作曲

平均律クラヴィア曲集第1巻の最後24番のプレリュードです。低音が、歩くようなテンポで止まることなく進んでいき、高音の2つのパートが、メロディーを穏やかに奏でていきます。バッハの世界に導かれていくような気がします。

♪ 【トリオ・ソナタ4番 2楽章 BWV528】 J.S.バッハ 作曲

♪ 【トリオ・ソナタ6番 1楽章 BWV530】 J.S.バッハ 作曲

これらの曲はオルガン独奏のためのソナタで、オルガンの右手、左手と足鍵盤パートが完全に独立した3つの声部となっており、トリオ・ソナタとよべます。

4番の2楽章は、どこか神秘的な響きがある美しい曲です。

6番の1楽章は、親しみやすいメロディーで、快活で明るい曲です。

< … 第三部 … >

♪ 【ディズニー・メドレー】 リー・ハーライン ほか 作曲

ディズニーは、昨年、創立百年を迎えたそうですが、今回は、ひと昔前のアニメから8曲をメドレーでお送りします。スタートは、ピノキオの主題歌「星に願いを」。コオロギのジムニーがしみじみ歌います。
♪～ 輝く星に心の夢を、折ればいつか叶うでしょう～♪

♪ 【ラ・クンパルシーダ】 ♪ラルド・マトス・ロドリゲス 作曲

アルゼンチンタンゴと言えばこの曲。ウルグアイでは「タンゴの国歌」とも称されているとか。今回、十数年ぶりの演奏ですが、当合奏団常連のお客様には、なじみ深い曲かと思えます。当時、ポピュラーの指揮を務めていた空慎一郎による編曲でお届けします。

♪ 【蒼いノクターン】 ホール・モーリア 作曲

原題は単に「Nocturne」ですが、日本では「蒼い」と付け加えられました。イージーリスニングやBGMの定番曲ですので気軽に聴きください。演奏する私たちも肩の力を抜いて……、と言いつつこれが難しいんですね。つい「気合いだ！」とやってしまいそうで。

♪ 【リカド・ボサノバ】 ジャルマ・フェレイラ 作曲

リカド(Recado)とは、ポルトガル語で「贈り物」または「伝言」と言う意味で、曲名のとおりボサノバの曲として発表されました。しかし、作者がボサノバとかジャズとか明確な区別をつけていなかったの今ではジャズのスタンダード・ナンバーとして有名です。楽しく演奏できればそれでよし、ということ……。さあ、ノってノって。

<出演者> 五十音順 ()在団年数

第一部 合奏

指揮・編曲	瀧口 輝夫	
1st	岩井 道雄 (39年) 北尾 美喜子 (36年) 浜田 正則 (16年) 福村 みどり (13年) 山岡 初彦 (27年)	
2nd	井内 悟 (22年) 大野 明子 (27年) 小田 則子 (15年) 辻井 百合子 (7年) 吉村 雅幸 (12年)	
3rd	稲葉 圭司 (12年) 今井 哲治 (14年) 堀田 義章 (2年) 山岡 敦子 (27年)	
4th	浅野 務 (1年) 奥井 敬造 (3年) 小田 良一 (15年) 葛西 謙 (8年) 横山 伸幸 (28年)	
Bass	岡本 繁 (6年) 權谷 友子 (9年) 渡邊 宜行 (24年)	
Soprano	川本 秀子 (14年)	
Contrabass	松井 あずさ (14年)	

独奏

山岡 初彦

ギターアンサンブル 50s

井内 悟 ・ 岩井 道雄
大野 明子 ・ 川本 秀子
寺井 由紀子 ・ 横山 伸幸
吉村 雅幸 ・ 渡邊 宜行
松井 あずさ (Contrabas)
山岡 敦子 (Percussion)

パロックアンサンブル

井内 悟 ・ 權谷 友子
福村 みどり ・ 南 和子
村上 純子 ・ 渡邊 宜行

第三部 合奏

指揮・編曲	小田 良一	
1st	井内 悟 (22年) 稲葉 圭司 (12年) 大野 明子 (27年) 浜田 正則 (16年) 福村 みどり (13年)	
2nd	浅野 務 (1年) 岩井 道雄 (39年) 北尾 美喜子 (36年) 堀田 義章 (2年) 山岡 敦子 (27年)	
3rd	今井 哲治 (14年) 奥井 敬造 (3年) 小田 則子 (15年) 辻井 百合子 (7年) 瀧口 輝夫 (15年)	
4th	葛西 謙 (8年) 山岡 初彦 (27年) 横山 伸幸 (28年) 吉村 雅幸 (12年)	
Bass	岡本 繁 (6年) 權谷 友子 (9年) 渡邊 宜行 (24年)	
Soprano	川本 秀子 (14年)	
Contrabass	松井 あずさ (14年)	
Percussion	大西 収	賛助出演

司会 吉田 恵実 賛助出演

写真・映像 米田 哲也 賛助出演